



令和5年度

5月12日(金)

平田野中学校

コミュニティ・スクールだより No.1

風薫るさわやかな季節です。皆さまには、お変わりなくご活躍のことと思います。日頃は、子どもたちの見守りや育成にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

5月2日には、第1回運営協議会が開かれました。学校長より、子どもも教師も笑顔になれる学校をめざしていきたいとお話がありました。



〇1ヶ月を終えて、各学年の先生より

1年生：

1学年のはじめは、仲間づくりが何より大切だと思う。一人ぼっちにならないように誰かとつながっていけるように見守っていききたい。友達同士で協力し合い、授業中も笑顔になれるよう、楽しく分かりやすい授業を作っていきたい。交通安全については、2件の重大事故もあったため、指導をしっかりしていききたい。

2年生：

まだまだ幼い部分もあるが、1年生から2年生に進級し、成長も見られる。全体で動く時ざわざわせず、すみやかに行動できるようになってきた。語彙力を上げ、しっかり聴く力をつけたい。仲間づくりは課題が多いが、先生（大人）同士もフォローし合う姿勢を見せていくことで、生徒たちも助け合いの気持ちが育ってきている。

3年生：

何かを任せると「やっておいたよ」と頼もしい姿が見られる。先生方も若いので、話しやすく、相談は担任以外にもしていける雰囲気がある。丁寧に教えると返ってくる、手をかければかけるほどのびていく生徒たち。進路を考える大切な時期をしっかりと見守っていく。

〇協議会委員より

- ・先生方と連携を取り、地域の人の手助けできることを模索していきたい。
- ・各学年のいいところをのばし、悪いところは一つ一つ丁寧に指導してほしい。
- ・成長の度合いも違うので、一人一人に目配りをお願いしたい。
自分のやりたいことをとことんやり、生涯にわたる友達ができるよう望む。
- ・赤信号をためらいもなく渡る自転車にひやりとした。交通指導を徹底してほしい。
- ・あいさつ運動では、地域の人と生徒も明るく声をかけ合える場面を増やしていきたい。
- ・図書室の有効活用を望み、オリエンテーションを実施した。今後も昼休みの開館の手伝いを続け、「また行きたい」と思える場所にしていきたい。

○鈴鹿市教育委員会より

・部活動地域移行についてお話がありました。

◇コミュニティ・スクールとは

学校、保護者、地域の皆さんが、「どんな子どもを育てていくのか」、「どんな学校、地域にしていくのか」を共に考え、知恵を出し合い、目指す姿を共有し、一緒になって活動していくためのしくみです。

学校運営協議会では、学校や地域の教育課題について、年6回定期的に協議をします。
(その他学校開放デー、文化祭、ヘルメットをかぶろう運動などの見学及び助言)

生徒が、主体的に地域行事に参加したり、地域活動に貢献したりすること(地域主催の農芸祭への参加、吹奏楽部の地域での演奏活動等)により、双方向の連携を強化すると共に生徒自身が、地域の力になれることに気づかせたいと願っています。

さらに、行事に参加することで、よりよい町づくりを考え、行動できる大人へと成長し、地域で学び、育ててもらったことを次の世代へ伝えていく循環型社会を目指しています。

【令和5年度 運営協議会委員】

役職名	名前	備考
委員長	篠原 章矩	自治会関係者
副委員長	藤本 英二	PTA(元PTA)関係者
委員	加藤 清	自治会関係者
委員	佐野 敏彦	自治会関係者
委員	五十嵐 なぎ子	主任児童委員
委員	平子 哲子	主任児童委員
委員	橋爪 早苗	地域コーディネーター
委員	間崎 裕介	PTA(元PTA)関係者
委員	宮崎 利香	主任児童委員
委員	上田 章善	学校長

☆ 平田野中学校運営協議会へのご意見、ご要望は…
地域と学校の連携等について、ご意見、ご提案等があれば、ご遠慮なく、
平田野中学校 059-378-0126 までお願いします。